取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 151000市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No】 5011 【取組・事業名】 まちあかり・ふれあい推進事業

【事業概要】 地域自治活動への助成および町内会で管理する防犯灯の電気料等に要する経費の一部を助成する。また、街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図るため、町内会からの防犯灯設置要望に基づき、市が経費を負担し設置する。

【事業の課題】 維持管理を担う町内会役員の後継者不足および電気料金の値上げ等により助成率が低下している。また、防犯灯の設置基準をより明確にする必要がある。

【事業の目標】 地域に根ざした住民自治活動が促進されるよう支援します。また、街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図ります。

【事業の目標指標】 <指標>①自治活動助成件数 ②電気料助成件数（旧：灯具交換・補修費助成件数） ③防犯灯設置件数（24年度～町内防犯灯整備事業を統合）
<基準値（20年度）>① 1,018件 ② - ③ -
<目標値（26年度）>① 1,019件 ② 999件 ③ 28,900灯

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども □ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 ■ （）
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	124,666千円	124,327千円	① 1,015件 ② 998件	1,019町内会に対し、活動助成金2,881万8千円、電気料助成金7,364万4千円、灯具助成金2,142万3千円、総額1億2,388万5千円の助成を行った。 23年度は助成金申請方法を簡略化し、町内会の負担軽減を図る。
23	123,345千円	119,869千円	① 1,017件 ② 999件	1,022町内会に対し、活動助成金28,803千円、電気料助成金69,533千円、灯具助成金21,533千円（28,495灯）、総額119,869千円の助成を行った。 町内防犯灯LED化事業により、集合住宅町内会灯でLED防犯灯へ交換できなかった防犯灯の電気料助成金等の取扱いの検討。
24	80,471千円	79,955千円	① 1,012件 ② 1,001件 ③ 28,841灯	1,018町内会に対し、活動助成金28,704千円、電気料助成金45,223千円、灯具助成金160千円、総額74,087千円の助成を行った。 防犯灯の新設は、220灯の申請に対し、199灯を設置した。
25	68,961千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 151000市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No】 5012 【取組・事業名】町内防犯灯整備事業

【事業概要】 街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図るため、町内会からの防犯灯設置要望に基づき、市が経費を負担し設置する。

【事業の課題】 設置基準をより明確にする必要がある。

【事業の目標】 街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>防犯灯設置件数
<基準値（20年度）>27,981灯
<目標値（26年度）>28,500灯

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども □ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 ■ （）
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	7,779千円	5,128千円	186灯の申請に対し、152灯を設置した（うち10灯は、東北電力からの寄贈によるもの）。	24年度に予定している既存防犯灯のLED化に伴い、新設においても省エネ・耐久性の高いLED灯具を採用する。
23	0千円	0千円	平成24年度の町内防犯灯のLED化に伴い、町内会等から要望のあった新設防犯灯の調査を行った。	24年度より、まちあかり・ふれあい推進事業に統合。
24	千円	千円		【事業終了】
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 151000市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No】 5013 【取組・事業名】防犯・暴力団壊滅追放運動の推進

【事業概要】 防犯活動や暴力団壊滅追放運動を行う市民主体の組織、団体の活動を支援する。

【事業の課題】 市内の3防犯協会の連携について、提案および指導を行っていく必要がある。

【事業の目標】 安心、安全な地域づくりへの市民意識を向上させます。

【事業の目標指標】
<指標>支援団体数
<基準値(20年度)>3団体
<目標値(26年度)>3団体

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/copr/ctcm_new/bouhan.htm

【事業対象の区分】 子ども □ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 ■ (防犯協会の会員等)
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	996千円	996千円	3団体	
23	1,006千円	981千円	3団体	
24	1,070千円	1,046千円	3団体	
25	1,061千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組・事業No】 5014 【取組・事業名】 秋田市立小学校警備事業

【事業概要】 小学生が安心して学校生活を送ることができるよう、市立小学校に警備員を各校1名配置し、各学校の実情に応じ、不審物、不審者等の対応を行う。

【事業の課題】 不審者等の侵入防止対策として、効率的な安全対策の手法を検討していく必要がある。

【事業の目標】 学校内における不審者等による犯罪の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>市立小学校全校で警備の実施を継続する。
<基準値（20年度）>全市立小学校47校
<目標値（26年度）>全市立小学校で警備実施

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分	
■	□	□	□	□	□	□	（）

<子どもの対象年齢> 7歳～ 12歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	40,011千円	35,255千円	全市立小学校45校	不審者等の侵入防止対策として、より効率的な安全対策の手法を検討していく必要がある。
23	39,759千円	37,513千円	全市立小学校45校	不審者等の侵入防止対策として効率的な手法であることから、今後も継続して実施していく。
24	38,809千円	37,432千円	全市立小学校44校	不審者等の侵入防止対策として効率的な手法であることから、今後も継続して実施していく。
25	38,640千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組・事業No】 5015 【取組・事業名】 秋田っ子まもるメールの配信

【事業概要】 児童生徒の登下校時の安全を確保するため、不審者に関する情報などを携帯電話や、パソコンにEメールで配信する。

【事業の課題】 事案発生から配信までに時間を要する場合があり、適時性を高めるための検討が必要である。

【事業の目標】 不審者等の情報共有により、児童の犯罪被害の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>児童生徒の関わる不審者等情報配信件数
<基準値（20年度）>配信件数 13件
<目標値（26年度）>児童生徒の関わる不審者等情報配信件数の減少

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/mamorumail.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	□	□	□	■	■	■ （メール配信登録者）

<子どもの対象年齢> 7歳～ 15歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	6件	児童生徒の関わる不審者等の情報を配信した。
23	0千円	0千円	8件	児童生徒の関わる不審者等の情報を配信した。
24	0千円	0千円	5件	児童生徒の関わる不審者等の情報を配信した。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組・事業No】 5016 【取組・事業名】 スクールガード養成講習会の実施

【事業概要】 市内の3警察署の管内毎にスクールガード養成講習会を実施する。

【事業の課題】 参加者数に限りがあるため、可能な限り受講したことの無い方を対象としていく必要がある。

【事業の目標】 通学路における地域ぐるみでの児童生徒の安全を確保する意識の向上を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>参加者数
<基準値(20年度)>216人
<目標値(26年度)>150人(220人から変更)

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
□	□	□	□	■	■	■ (地域の関係団体)

<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	178人	通知日および開催日程を工夫するなどして参加しやすい講習会にする。
23	0千円	0千円	177人	警察など関係機関との連携を密にして、講習内容を充実させる必要がある。
24	0千円	0千円	169人	講習内容を検討しながら講習会の充実を図る。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組・事業No】 5017 【取組・事業名】 通学時における安全確保と適切な指導

【事業概要】 学校、PTA、地域の町内会、老人クラブなどで構成される安全対策委員会のパトロール活動などにより、安心して登下校できる環境づくりを進める。

【事業の課題】 地域によって活動に温度差が生じている。

【事業の目標】 通学路における地域ぐるみでの児童の安全の確保を推進します。

【事業の目標指標】 <指標>安全対策委員会の人数
<基準値(20年度)>9,294人
<目標値(26年度)>9,000人(10,000人から変更)

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/katudounaiyou.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	□	□	□	■	■	■ (地域の関係団体)

<子どもの対象年齢> 7歳～ 12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	8,992人	スクールガード養成講習会を通じて、児童活動への参加を呼びかけるなど、地域活動のさらなる活性化を図っていく必要がある。
23	0千円	0千円	8,984人	スクールガード養成講習会を通じて、児童活動への参加を呼びかけるなど、地域活動のさらなる活性化を図っていく必要がある。
24	0千円	0千円	8,127人	スクールガード養成講習会を通じて、児童活動への参加を呼びかけるなど、地域活動のさらなる活性化を図っていく必要がある。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 501子どもの安全確保 【重点施策】■

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組・事業No】 5018 【取組・事業名】 被害を受けた子どもへの対応

【事業概要】 各校が、不審者被害を受けた子どもなどの心のケアを図るために、養護教諭を含めた校内教育相談体制を確立するとともに、緊急時の対応マニュアルを策定し、これに基づいて適切に対応・支援を行う。また、必要に応じて、臨床心理士等の専門家と連携して支援する。

【事業の課題】 事故発生後における、的確な状況把握と迅速な対応を行う。

【事業の目標】 校内教育相談体制を確立するとともに、事故発生時における対応マニュアルに基づいた迅速かつ組織的な対応により、被害を受けた児童生徒の心のケアに努めます。

【事業の目標指標】 <指標>学校における事故発生時の対応マニュアルの整備・更新
<基準値（20年度）>策定 100%
<目標値（26年度）> 100%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども □ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 ■ （小中学校 ）
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	100%	東日本大震災を踏まえ、地域の状況などに対応した緊急対応マニュアルの見直しを行う。
23	0千円	0千円	100%	地域の状況などに対応した緊急対応マニュアルの見直し後の検証を行う。
24	0千円	0千円	100%	緊急対応マニュアルについて見直し後の改善を図る。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 502子どもを災害から守るための取組 【重点施策】□

【部局課所室】 015000総務部 500防災安全対策課

【取組・事業No】 5021 【取組・事業名】 各種防災訓練の拡充

【事業概要】 「県民防災の日」および「県民防災意識高揚強調週間」にちなみ教育機関に各種防災訓練の実施を呼びかける。
地域で行う各種訓練等に小学生も参加することで防災意識の高揚を図る。

【事業の課題】 「防災訓練＝避難訓練」と認識されているようなので、訓練の組み合わせについて工夫が必要。

【事業の目標】 防災意識と防災技術の高揚に努める。

【事業の目標指標】 <指標>放課後児童クラブ等における防災学習会の開催回数（目：多くの人に、複数回参加してもらう）
<基準値（20年度）> -
<目標値（26年度）> 20回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども ■ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 □ ( )
<子どもの対象年齢> 6歳～ 12歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	【目指標に対する実績】2,105人	今後も、機会を捉えて子どもを対象に防災意識の高揚に務める。
23	0千円	0千円	【目指標に対する実績】5,746人	今後も、機会を捉えて子どもを対象に防災意識の高揚に務める。
24	0千円	0千円	【新指標に対する実績】10回	今後も、機会を捉えて子どもを対象に防災意識の高揚に務める。また、地域での防災訓練等にも子どもが参加しやすいよう工夫をする。
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 502子どもを災害から守るための取組 【重点施策】□

【部局課所室】 700500教育委員会 02教委・総務課

【取組・事業No】 5022 【取組・事業名】 災害に強い学校施設の整備

【事業概要】 耐震診断の結果、要補強と診断された学校施設の耐震化を進める。

【事業の課題】 事業費および事業量の平準化を図る。

【事業の目標】 平成27年度までに全ての学校の耐震化を完了します。

【事業の目標指標】
<指標>耐震化率
<基準値(20年度)>約86%
<目標値(26年度)>100%

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mn/default.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	■	■	■	■	■	■ (学校周辺住民)

<子どもの対象年齢> 7歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,407,002千円	1,338,414千円	91.9%	【耐震補強】牛島小学校体育館、戸米川小学校体育館 【増改築】岩見三内小学校校舎・体育館、土崎中学校校舎の一部
23	1,237,143千円	979,108千円	93.3%	【耐震補強】川尻小、城東中、西中 【増改築】岩見三内小、雄和中、土崎中 【大規模改造】東小、下浜中
24	1,486,750千円	1,341,038千円	96.1%	【耐震補強】川尻小体育館 【増改築】岩見三内小、雄和中、土崎中 【大規模改造】河辺小、城東中、南中
25	551,342千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 503交通安全の普及・啓発 【重点施策】□

【部局課所室】 551600都市整備部 17交通政策課

【取組・事業No】 5031 【取組・事業名】 交通安全教育事業

【事業概要】 幼稚園・保育所を対象とした交通安全教室を実施するとともに交通安全指導者の指導力向上を図る。

【事業の課題】 交通事故の発生原因は多種多様であるが、交通マナー・モラルの低下も大きな要因の一つであり、幼児期からの交通安全教育の徹底が必要不可欠である。また、教育を行う者の育成・指導力向上にも努める必要がある。

【事業の目標】 交通安全教育を推進することにより、交通マナー・モラルの向上に努め、ひいては交通事故の減少を図ります。

【事業の目標指標】 <指標>交通安全教室開催回数
<基準値（20年度）>228回
<目標値（26年度）>250回

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ct/mn/koutuu.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	□	□	□	■	■	□ （）

<子どもの対象年齢> 2歳～ 6歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	593千円	527千円	242回	幼児期からの交通安全教育が重要であり、担当者の育成や指導力向上にも努めるとともに、交通安全教室の内容や方法も工夫する必要がある。
23	513千円	401千円	230回	幼児期からの交通安全教育が重要であり、担当者の育成や指導力向上にも努めるとともに、交通安全教室の内容や方法も工夫する必要がある。
24	677千円	617千円	240回	幼児期からの交通安全教育が重要であり、担当者の育成や指導力向上にも努めるとともに、交通安全教室の内容や方法も工夫する必要がある。
25	688千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1子どもの安全確保
【施策名】 503交通安全の普及・啓発 【重点施策】□

【部局課所室】 551600都市整備部 17交通政策課

【取組・事業No】 5032 【取組・事業名】 交通安全普及・啓発事業

【事業概要】 季別毎の交通安全運動期間中のほか交通安全に関する広報・啓発活動を実施する。

【事業の課題】 全国および全県の傾向と同様に、本市の交通事故死者数は減少に転じているものの、児童の交通死亡事故が発生しており、更なる交通安全対策の強化が必要である。

【事業の目標】 子どもを交通事故から守るため交通事故防止および交通安全確保を図ります。

【事業の目標指標】 <指標>交通事故死者数
<基準値（20年度）>8人
<目標値（26年度）>基準値より減少

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ct/mn/koutuu.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	■	■	■	■	■	□ （）

<子どもの対象年齢> 0歳～ 17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	2,885千円	2,340千円	9人	本市交通事故死者数の減少を図るため、更なる交通安全対策の強化が必要である。
23	2,374千円	2,221千円	8人	本市交通事故死者数の減少を図るため、更なる交通安全対策の強化が必要である。
24	1,976千円	1,554千円	8人	本市交通事故死者数の減少を図るため、更なる交通安全対策の強化が必要である。
25	1,874千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 504安全な歩行空間の確保 【重点施策】□

【部局課所室】 452000建設部 20道路建設課

【取組・事業No】 5041 【取組・事業名】 人にやさしい歩道づくり事業

【事業概要】 妊産婦、子どもその他の歩行者を含む全ての人が安全かつ円滑な通行を確保するには、通行の支障となる段差や勾配を解消し、誰もが利用しやすい構造とする必要があるため、歩道の新設や既設歩道の改善等を行う。

【事業の課題】 歩行者の安全性・快適性・利便性の向上のため、歩道の新設や、段差・急勾配の解消など歩道の改良を進めているが、まだ十分な整備とは言えず、事業の促進が課題である。

【事業の目標】 安全で快適な歩行者空間の整備に努め、移動環境の向上を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>歩道整備延長
<基準値（20年度）> L= 3,538m
<目標値（26年度）> 5年間累計 L= 7,800m

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分	
■	■	■	■	■	■	□	( )

<子どもの対象年齢> 0歳～ 17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	538,700千円	523,429千円	歩道整備等 L=4,192m	歩行者の安全で快適な歩行空間の向上のため、歩道新設および段差等の解消が引き続き課題であることから、整備の促進に努める
23	193,000千円	552,395千円	歩道整備等 L=3,655m	
24	409,400千円	409,400千円	歩道整備等 L=986m	
25	519,200千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 505公共施設等のバリアフリー化の促進 【重点施策】□

【部局課所室】 457000建設部 35公園課

【取組・事業No】 5051 【取組・事業名】公園のバリアフリー化

【事業概要】 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律を受けて、国による都市公園のバリアフリー改修への補助制度を活用し、市内における公園のバリアフリー化を進める。
（都市公園バリアフリー化事業および緑化重点地区整備事業）

【事業の課題】 公園のバリアフリー化を実施するにあたっては、自然環境の保全に加え、市民参加による公園づくりの取り組みが必要である。

【事業の目標】 都市公園のバリアフリー化を進める。

【事業の目標指標】 <指標>園路・広場のバリアフリー化
<基準値（20年度）>80か所
<目標値（26年度）>97か所

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども □ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 ■ （すべての年代）
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	56,914千円	56,731千円	88箇所	手形、保戸野、田尻沢第一、田尻沢第二の計4か所の街区公園のバリアフリー化を実施した。
23	89,241千円	89,178千円	90箇所	楢山、山王帯状緑地、田尻沢、新屋大川端街区公園の4公園等のバリアフリー化を実施した。
24	19,735千円	56,349千円	93箇所	栗田町第二、幕洗川、山王第一の計3か所の街区公園のバリアフリー化を実施した。
25	49,400千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 505公共施設等のバリアフリー化の促進 【重点施策】□

【部局課所室】 457000建設部 35公園課

【取組・事業No】 5052 【取組・事業名】公園遊具施設長寿命化等整備事業

【事業概要】 公園利用者の安全確保を図るため、老朽化した遊具の更新及び予防修繕を実施する。

【事業の課題】 老朽化する遊具は今後も増加することから、更新費用の確保と予防修繕によるライフサイクルコストの低減を図る必要がある。

【事業の目標】 老朽化した遊具の更新及び予防修繕を進める。

【事業の目標指標】 <指標>遊具更新・予防修繕基数
<基準値（20年度）>0基
<目標値（26年度）>883基

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども ■ 若者 □ 妊婦 □ 産婦 □ 父親 □ 母親 □ 他の区分 □ ( )
<子どもの対象年齢> 3歳～ 12歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	30,579千円	27,982千円	遊具更新86基、予防修繕91基	
23	25,800千円	26,645千円	遊具更新74基 予防修繕94基	
24	63,300千円	38,153千円	遊具更新86基 予防修繕81基	
25	36,000千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 505公共施設等のバリアフリー化の促進 【重点施策】□

【部局課所室】 551500都市整備部 15都市計画課

【取組・事業No】 5053 【取組・事業名】 土崎駅、新屋駅、市立病院・山王官公庁周辺地区のバリフリー化

【事業概要】 これまで「秋田市交通バリアフリー基本構想」に基づき、重点的に行ってきた駅周辺地区については、特定事業が22年度で終了したことから、23年6月策定の「秋田市バリアフリー基本構想」において、重点整備地区から除外し、新たに、新屋駅、市立病院・山王官公庁周辺を追加してバリアフリー化を推進する。

【事業の課題】 まちの中にある様々な障害を除去し、誰もが安全・快適に行きたいところへ行けるよう、バリアフリーによるまちづくりの推進が必要である。

【事業の目標】 誰もが安全かつ安心して生活することができる環境づくりをめざし、バリアフリー化を推進します。

【事業の目標指標】 <指標>公共施設等のバリアフリー化の推進
<基準値（20年度）>重点整備地区2地区
<目標値（26年度）>重点整備地区3地区

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/11koutuu-BF/bfkyougikai/default.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分
■	□	■	■	□	□	■ （高齢者、障がい者）

<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	1地区	
23	0千円	0千円	0地区	交通施設等のバリアフリー化の推進
24	0千円	0千円	0地区	交通施設等のバリアフリー化の推進
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 506子育て家庭に配慮した市営住宅等の整備 【重点施策】□

【部局課所室】 554000都市整備部 30住宅整備課

【取組・事業No】 5061 【取組・事業名】既設市営住宅建替事業

【事業概要】 老朽化した住宅の建替えを年次計画により実施し、市営住宅の質の向上を図るとともに、小規模団地の統廃合を行い、より効率的な住宅供給を行う。また、ファミリー向けの住宅を中心に、高齢化や少子化に対応した多様な世帯を考慮した様々なタイプの住宅の供給を行う。

【事業の課題】 老朽化が著しく安全性に問題がある団地が存在することから、財政状況を勘案しながら建替等を検討しなければならない。

【事業の目標】 23年4月に「秋田市住生活基本計画」を策定しており、同計画に基づき、改修または建替を行わなければならない団地の整備手法を検討し、安全性と質の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標>既設市営住宅の建替整備戸数
<基準値(20年度)>130戸
<目標値(26年度)>260戸

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/cs/hs/hinai-tatekae/default.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分	
■	■	□	□	■	■	□	( )

<子どもの対象年齢> 0歳～ 17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	187,588千円	182,588千円	260戸	共同施設(集会所、児童遊園、駐車場等)完成買取。 平成22年度をもって、新屋比内町市営住宅建替事業が完了。今後、耐用年数が超過する市営住宅の建替え方針を検討する。
23	0千円	0千円	0	秋田市住生活基本計画に基づき建替方針を検討。
24	0千円	0千円	0	秋田市住生活基本計画に基づき建替方針を検討。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 5安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-2子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】 506子育て家庭に配慮した市営住宅等の整備 【重点施策】■

【部局課所室】 554000都市整備部 30住宅整備課

【取組・事業No】 5062 【取組・事業名】 市営住宅優先入居制度

【事業概要】 市営住宅への入居にあたり、子育て世帯が入居しやすい制度を導入して、子育て世帯を支援する。

【事業の課題】 市営住宅の応募倍率は低下傾向にあるものの、民間に比較して家賃が低廉なため入居希望者が多いほか、高齢者や母子世帯なども優先対象として取り扱っていることから、子育て世帯への供給が十分に確保できない。また、優先対象が多子世帯であるため、対象者が少ない。

【事業の目標】 多子世帯に対する抽選倍率の優遇や、子育て世帯に対する戸数枠設定による優遇措置などの制度を導入する。

【事業の目標指標】 <指標>入居申請の適正な処理
<基準値(20年度)>多子世帯の申込4件(入居実績0件)
<目標値(26年度)>入居申請の適正な処理

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/cs/hs/default.htm

【事業対象の区分】

子ども	若者	妊婦	産婦	父親	母親	他の区分	
■	□	□	□	■	■	□	( )

<子どもの対象年齢> 0歳～ 17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	適正に処理	22年3月に新屋比内町市営住宅で子育て世帯優先枠30戸を募集し全戸入居した。
23	0千円	0千円	適正に処理	多子世帯に抽選倍率を優遇し募集した。
24	0千円	0千円	適正に処理	多子世帯に抽選倍率を優遇し募集した。 子育て世帯、多子世帯等(裁量者)の入居収入基準の上限を21.4万円から25.9万円へ引き上げた(H25年4月実施)。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		